



Network Japan

# GLOBAL COMPACT NETWORK JAPAN

## THE 11TH UNITED NATIONS GLOBAL COMPACT

### CHINA-JAPAN-KOREA ROUNDTABLE CONFERENCE

日本、中国、韓国のローカルネットワーク間の連携強化、ベストプラクティスの共有を目的に、2009年より毎年持ち回りで「日中韓ラウンドテーブル」を開催しています。第11回目となる今回は「ビジネスにとってのSDGs-トライして先駆者になろう」をテーマに、中国のローカルネットワーク主催のもと、中国山東省の済南市にて8月20日～22日の3日間にわたり開催されました。GCNJからは野村理事、後藤理事、大場事務局長、吉岡次長、國府田、横井の計6名が参加しました。

#### ユースプログラム

1日目(8/20)は将来を担う学生を対象としたユースプログラムとして、3カ国より選ばれた学生を迎えたアクティビティと生物多様性フォーラムを開催しました。事前に日中韓混合で3つのチームに分かれオンラインでディスカッションを行ってきた学生達は、アクティビティが始まるとすぐに打ち解け、終始和やかな雰囲気のもと活発な議論を行いました。



アクティビティを行うユース達

午後の生物多様性フォーラムでは、日中韓三国の平和と繁栄を促進するために設立された、日中韓三国協力事務局(TCS)の講演でスタートしました。TCSプログラム・オフィサーの酒井満里奈氏はTCSの役割について説明すると共に、アジア3カ国の連携強化の重要性について強調しました。TCSの講演後、伝統的なチベット医薬を扱う製薬会社「奇正蔵薬」による生物多様性保全の取り組み、モンゴルの砂漠で植林を行うNPO「緑色生命」の創業者自身からの活動紹介、さらに中国科学院動物研究所から、「人類運命共同体」をテーマとしたグローバルな環境保護活動として、人類の基本的な生存を保障する最低自然保護指数「N%」という新しい概念が紹介されました。



Tea Ceremonyの様子

夜はビジネスとアカデミアの関係者を迎え、ウェルカムディナーを開催しました。オープニングでは3カ国の学生代表が各国の伝統衣装を着用し、中国の伝統的なお茶を披露する、Tea Ceremonyが行われました。

#### ビジネスセッション

2日目(8/21)はGCNC(ローカルネットワーク中国)による開会の辞でスタートしました。オープニングスピーチではGCNJから野村理事、GCNKからは李東健会長が登壇し、SDGsを推進していく上で、ユースの力が必要不可欠であること、さらに3カ国で協力し合い行動をおこしていくことの重要性について述べました。TCSからは経済局長の喬文氏が登壇し、アジアにおいて日中韓の3カ国が果たす役割は非常に大きいと述べ、持続可能な開発目標の達成に向けて、3カ国がリーダーシップを発揮していくことに期待を寄せました。UNGCのアジア太平洋ネットワークの代表である劉萌氏は、祝辞にて日中韓ラウンドテーブルの功績を称えと同時に、環境問題へ人々が関心を持ち行動を起こすために何をすべきか、改めて考えていく必要があると力強く述べ、UNGCとしてさらにアクションプラットフォームの内容を充実させていくことを宣言しました。



代表者のグループフォト

#### ローカルネットワークセッション

ローカルネットワークセッションでは、3カ国のローカルネットワークが各国の取組や実績について共有しました。GCNJからは大場事務局長が登壇し、会員企業による積極的な分科会活動などを紹介すると共に、来年の日中韓ラウンドテーブルの日本開催についても協力を呼びかけました。

#### ビジネスセッション

3カ国それぞれの企業がテーマに沿った取り組みについて発表をするビジネスセッションでは、下記3つのテーマのもと全9社が登壇し、自社の事業と社会のつながりを踏まえた様々なSDGs貢献の事例を紹介し、非常に興味深く充実した内容となりました。

テーマⅠ: How companies contribute to Key Sustainable Goals of local community【登壇企業: キリンホールディングス株式会社、北京方略博華伝媒有限公司、AMORE PACIFIC】



ビジネスセッションの様子

テーマⅡ: How business contribute to SDGs through technological innovation【登壇企業: コマニー株式会社、遠大集団、SKテレコム】  
テーマⅢ: Addressing climate change challenges and achieving regional development【登壇企業: 富士通株式会社、伊利集団、柳韓キンバーリー】

#### ユースセッション



チームC発表の様子

プログラム後半にはユース・セッションが行われました。3カ国の学生達が生物多様性という大テーマのもと、下記3テーマごとに日中韓混合の3チームに分かれて議論、その結果をプレゼンテーションし、競い合いました。

チームA: How can company use their products, services and resources to raise the awareness of the public on Biodiversity?

チームB: How can companies protect biodiversity in the process of production and other business activities?

チームC: What actions company can take to address the sustainable use of biodiversity components?

優勝は国際基督教大学の毛利勝彦先生がメンターを務め、TVライブショーのような演出でユニークに発表を行ったチームCに決定しました。短期間で非常にクリエイティブかつ徹底的にリサーチをし完成度の高いプレゼンテーションを作り上げた学生に、会場からは驚きと感心の声が多く聞かれました。



プログラム終了後の集合写真

3日間で総勢約120名が参加した第11回日中韓ラウンドテーブルは大成功のうちに幕を閉じました。ご協力いただいた企業ならびにご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。今後もGCNJは日中韓での連携をより深め、SDGs達成に向けてステークホルダーとの協働を進めてまいります。

記録: GCNJ 横井